

和光



発行 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700番地

国立療養所 奄美和光園

電話(0997)52-6311 FAX(0997)53-6230

令和元年5月1日
(2019)

第113号

■表紙	1
■患者様の権利	2
■異動者お別れの挨拶	3～5
■新人紹介	6～9
■合同歓迎会	9
■節分・豆まき	10
■お花見会	11

■映画上映会を開催して	11
■バスレクリエーション(北大島)に参加して	12
■第17回日本フットケア学会年次学術集会に参加して	13
■NST News Letter	14
■平成30年度診療統計	15
■和光園日誌	15
■人事異動・今後の行事予定・編集後記	16

基本理念

私たちは、入所者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り、豊かな自然環境につつまれた穏やかで心豊かな療養生活と、安全で安心できる医療を提供します。



記念公園内御歌碑

基本方針

1. 入所者の終の棲家として心穏やかな暮らしを支えることを基本とします
2. 入所者自治会とよく話し合い 入所者本位の運営に努めます
3. 入所者一人ひとりの日々の変化にきめ細かく対応いたします
4. ハンセン病による後遺症や合併症の対策をしっかりと行います
5. 入所者が高齢化していることを念頭に置き 健康保持の活動や生活を支える医療さらには感染予防・認知症対策に重点を置きます
6. 地域医療とも連携し 適切で標準的な医療の提供に努めます
7. ハンセン病に対する正しい知識を普及させるため 啓発活動に努めます
8. 開かれた療養所となることを目的に地域社会との交流促進に努めます
9. 入所者の健康と安全な生活に貢献できるようすべての職員の質の向上に努めます

患者様の権利

★人格を尊重した医療を受ける権利

誰でも、どんな病気でも、安全で良質な医療を平等に受ける権利と、個人の人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで医療を受ける権利があります。

★医療に関する十分な説明を受ける権利

検査、治療等について、あるいは他の治療方法について、納得されるまで十分な説明を受ける権利があります。

★個人情報保護の権利

診療の過程で得られた個人情報やプライバシーが守られ、個人の尊厳が保たれる権利があります。

★診療情報の提供を受ける権利

ご自身の診療録の開示を請求する権利があります。

★検査や治療等の自己決定権の権利

検査、治療法などの選択、あるいは拒否をする権利があります。
また、セカンドオピニオンを受ける権利があります。

患者の皆様へ

- ご自分の健康に関する事を詳しく正確にお話し下さい。
- あらゆる危険を回避するために職員との連携にご協力下さい。
- よりよい医療・療養・生活環境を維持するために入院の規則をお守り下さい。



国立療養所 奄美和光園

H22.5.22 作成

異動者 お別れの挨拶

お世話になりました

奄美大島に転勤して2年、あっという間に時が過ぎた気がします。コバルトブルーに輝く海、今までに見たことがない珍しい生き物、おいしい島料理……奄美大島、大好きでした。

奄美大島は月の満ち欠けと太陽の動きをもとに旧暦で行事が行われます。入所者の皆様は一つひとつの行事の中で、自然の恵みと祖先への感謝の思いを大切にしながら

年を積み重ねておられました。人生の先輩として多くのことを学ばせていただきました。皆様と同じ時の流れを感じることができ、とても幸せでした。

私は、皆様との思い出を宝物に熊本での新しい一步を踏み出したいと思います。本当にありがとうございました。

総看護師長 豊田 恵美

お世話になりました

平成28年4月より奄美和光園に赴任しまして、あっという間の3年だったという気がします。私が配属された福祉室では、看護課、コメディカル部門との調整役として広い視野で物事を見るポジションを与えられ、たくさんの経験を積ませていただきました。また入所者のみなさんに直接関わる機会が多く、実際の生の声を聞かせていただき貴重な体験を得ることができました。

さらに業務の一つとして平成29年4月より和光編集委員のメンバーとなりました

が、記事を書いたり、写真を撮ったり趣味的な要素を含めながら取り組めたことも自分にとって大いにプラスになったと思います。

奄美和光園での歓迎会や送別会でよく、「みしよれ」といっておもてなしを受けましたが、その言葉は一生忘れられない美しい響きでした。本当に3年間ありがとうございました。

福祉室長 磯部 武嗣

奄美和光園の思い出

平成25年4月1日鹿児島医療センターより未踏の地「奄美大島」に来てから早6年。本当に早い6年でした!!! 図らずも長男が同時期に奄美大島に転勤となり運命を感じたものでした。

ハンセン病療養所は初めて、国の機関から遠ざかり9年。浦島太郎覚悟でしたが、空気も土地も人も心身ともに自分的には合っていることを直感しました。そして自分

が・・・まさか花木を育てることに喜びを感じるようになるとは。入所者の皆さまとも「花」を通じて仲良くなり、花天国の時間を過ごせました。

定年まであと数年、帰ってこられることを祈りつつ、一言!

「マタアイマショウ」

庶務班長 堀口 広文

お世話になりました

2年前のとある土曜日。園内敷設の駐車場に入ると、大型車、外車、キャディラック？7、8台に囲まれて、まるで「ビバリーヒルズ高校白書」に登場する「デビット坊や」気分で通勤したのを昨日の事のように覚えています。翌月曜日、駐車場内の軽乗用車、国産普通車が駐車しているのを見て

安堵したものです。（交際費がなかったもので……。）

皆さん、お世話になりました。また、相まみえんことを祈りつつ、退かせていただきます。

給食係長 川原 増美

お世話になりました

この度、4月1日からNHO福岡病院へ異動することとなりました検査科の原田です。奄美の素晴らしい自然、入所者の皆様の笑顔に触れる時間が増えたことで楽しくなり、職員の方々と交流するきっかけも増え、赴任後数か月の内には「最低でもココに3年以上は居たい！」と自らも望むようになりました。8年ぶりに自宅に戻る嬉しさよりも、ここを2年で去る残念感の方が大きいです。

4月の歓迎会に始まり、ミニ運動会、夏祭り、敬老会、ゲートボール大会等々、楽しい思い出ばかりです。国立病院に二十数

年勤務し、初めてハンセン病療養所勤務ができたことは大変有難く、とても良い経験を積ませて頂きました。皆様とはたった2年間のお付き合いとなってしまったことが残念でなりません。機会があればまた奄美に、和光園に訪れたいと思っておりますので、その時はよろしくお願い致します。

皆様お身体を大切にお過ごし下さい。2年間、お世話になり本当にありがとうございました。

研究検査科 原田 弘邦

結いの島を離れることにあたって

引っ越しの荷物を整理しながら3年間のことを思い出していました。

屋仁川通りを歩くと聞こえる島唄、舟漕ぎ大会、加計呂麻マラソン、シュノーケリングやイベントの手伝いなど書ききれないくらいの思い出があります。

私を孫のように接してくれる入所者の方々、親切にしてくださった職員の方々には感謝しかありません。和光園に限らず奄美大島で色々な人達と出会って刺激を受けたこと

も多いです。私が生まれる前に亡くなった祖父が瀬戸内出身であることも知った際には、祖父が私をきつと導いてくれたのだなと思いました。

奄美を離れることになりましたが、休暇を利用して遊びに来ようと思っておりますのでさよならは言いません。遊びに来た時にまたよろしくお願い致します！

研究検査科 川崎 岳史

転勤に伴うご挨拶

平成28年4月に奄美和光園に赴任してきて、早3年が過ぎようとしています。初めての転勤、初めての一人暮らし、初めての師長としての新天地。なにもかも初めてで不安でいっぱいのスタートでした。奄美和光園では治療棟に配属となり、その後病棟へ異動し看護をしていく中で入所者の皆さまのあたたかな人柄、スタッフのやさしさに触れ、和光園での仕事、奄美での生活を楽しく過ごすことができました。入所者の皆さまのために何ができるか、何をした

いのか、やっと見えてきたところで異動となり、やり残したこともたくさんあり、とても残念に思います。

ここ、和光園で学んだ看護を次の職場で活かせるようこれからも奮闘していきたいと思います。

3年間お世話になり、ありがとうございました。

病棟師長 西濱 るみ子

お世話になりました

「島で暮らしたい！」と帰郷したのは13年前。10年間で当園で勤務し、入所者の皆様、職員の方々にたいへんよくして頂きました。共に過ごした楽しい時間を昨日のこのように思い出します。

和光園では、多くの出会いと別れ、人生の先輩方の語らい、その一つひとつに大きな意義があり私を育ててくれました。山いっぱいに咲くツバシャの花、高倉前の夜桜、ツツジやイチョウ、入所者の方々と季節を感じてきた素敵な場所です。

白ハトやウリ坊、ハブとも闘いました。100年に1回と言われたゲリラ豪雨に2回

も当直し冷や汗をかきました。たくさんの行事では必死に踊りました。今ではすべて貴重な思い出です。

和光園は、人の心が温かく本当にすばらしいところ。感謝の気持ちでいっぱいです。

この春、島を離れますが、また皆様に笑顔で会えますように。そして皆様に素敵な出会いと楽しい時間が続きますように。

本当にありがとうございました。

不自由者棟 副看護師長 窪田 マキ

お世話になりました

平成23年に和光園に入職し、8年間お世話になりました。入所者の方や先輩方に多くのことを学ばせていただき本当に充実した8年間でした。病棟に6年、不自由者棟に2年勤務しましたが一般舎の方にも「姫、頑張っているか?」「舎にまわっておいで」と声をかけてもらうことが多く嬉しかったです。

家庭的で温かい雰囲気のと和光園を離れる

ことは、寂しいですが4月から、故郷の関西に戻り、南京都病院で頑張りたいと思っています。

最後に、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。本当にありがとうございました。

不自由者棟 看護師 篠原 夕姫

新人紹介

総看護師長 鮫島 明子（さめしま あきこ）

4月1日付けで鹿児島県の加治木町にある南九州病院から赴任して参りました。

鹿児島島出身ではありますが、奄美を訪れるのは今回が初めてです。この地に降り立った時、周囲を山に囲まれ小川が流れ、野鳥のさえずりが聞こえ、南国特有の花々が咲いており、豊かな自然に勇気と力をいただきました。

入所者の皆さまの生活を職員全員で支えることができるよう日々努力して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



事務長補佐 立川 秀一（たつかわ しゅういち）

4月1日付で大分医療センターから参りました、事務長補佐の立川です。奄美に来るのは初めてですが、鹿児島県での勤務は今回で3回目となり鹿児島への縁を感じているところです。

ハンセン病療養所での勤務は、当園で2回目となります。以前勤務していた時の事を思い出しつつ日々勤務しております。

まだまだ不慣れな点多々あるとは思いますが、早く業務に慣れて微力ながら当園に貢献したいと思っておりますので、皆様方よろしくお願いいたします。

福祉室長 上脇田 勝教（かみわきだ かつのり）

4月1日付で長崎病院から福祉室長として赴任しました。今回が8回目の転勤となります。出身は鹿児島県霧島市です。沖縄には何十回も行ったことがありますが、奄美大島には初めて来ました。第一印象は、山が近くて木が密集しているなということでした（沖縄では北部に行かないと山を見ることがない）。どこの山を見ても木が密集しているので亜熱帯気候を実感しました。

ハンセン病療養所では以前、星塚敬愛園に勤務した経験がありますので、その経験を生かし、入所者の方々が穏やかな生活を送れるように努力して参ります。よろしくお願いいたします。



庶務班長 清田 和博（きよた かずひろ）

鹿児島医療センターから赴任した庶務班長の清田です。奄美大島は初めてなのですが、自然が多く、良い環境だと感じました。これから少しずつ散策していこうと考えています。

仕事は初めて行う内容なので、ご迷惑をお掛けすることもあります。よろしくお願いいたします。

**庶務係長 綾部 純一（あやべ じゅんいち）**

この度、4月1日付で、東佐賀病院より庶務係長として赴任して参りました。ハンセン病療養所は4施設目となります。出身は佐賀県で、東佐賀病院と同じところ です。

離島生活は、10年ぶりで2回目となります。奄美大島は私生活を含め初めてです。まだまだ業務に慣れず、ゆっくり落ち着けません、自然豊かな島内をたくさん回り、離島生活を満喫したいと思います。

入所者の方々と園内の行事に参加し、交流を深めていきたいと思っています。奄美の良いところを色々教えてください。よろしくお願いします。

研究検査科 臨床検査技師長 畠 伸策（はたけ しんさく）

4月1日付で九州医療センターより赴任しました臨床検査技師長の畠です。和光園勤務は2回目で、15年ぶりに念願の奄美に帰って来ました。笠利町の出身で、園内のゲートボール場を見ると、元気だった祖父が和光園ゲートボール大会によく参加していたことが懐かしく思い出されます。島を離れ、島を懐かしみ、島の良さを再認識させられた15年でしたので、船漕ぎ大会や大好きな釣り、島唄・三味線など郷土の伝統についても貪欲にチャレンジできればと思います。

検査業務におきましては、これまでの検査業務を円滑に進めながら、入所者の皆様はじめ和光園にとりまして一つでも役に立てる仕事ができるよう誠心誠意努めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**検査科 細菌血清主任 和氣 輝忠（わき てるただ）**

こんにちは。国立療養所宮古南静園より参りました。奄美和光園は今度で2度目となります。以前出来なかったことを頑張ってみたいと考えています。

よろしくお願いします。

リハビリテーション室 理学療法士 島津 貴幸（しまづ たかゆき）

4月よりお世話になっております島津貴幸と申します。出身は熊本県天草です。先日地震で有名となりました熊本県益城町に家を建てているため単身赴任で来ました。

入所者の方々と和光園スタッフに良くしていただき、楽しくリハビリが出来ています。プライベートでも早速、加計呂麻島に魚釣りに行き笠利に素潜りでトビンニャ取りも経験させて頂きました。魚釣り、舟漕ぎ、ハブ取り、蛸・貝取り、ダイビング、トレッキング、離島巡り何でもお誘いお待ちしております。

仕事もプライベートも楽しく積極的に過ごせるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

治療棟 看護師長 島袋 源秀 (しまぶくろ げんしゅう)

4月より、治療棟の看護師長をさせていただいています、島袋源秀と申します。慣れないことばかりで、毎日緊張の連続です。ですが、皆さん優しく、治療棟では笑い声が絶えず、とても明るい環境で仕事をさていただき感謝しております。

まだまだ未熟な点が多く、皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、温かく見守ってください。そして、一日でも早く私にできることを見つけ、皆様に喜んでいただけるよう取り組んでまいりたいと考えております。どうぞ宜しくお願いします。



不自由者棟 看護師 長井 久美子 (ながい くみこ)

4月1日よりゆらいの郷で勤務しております。龍郷町出身で、30年ぶりに故郷に戻り、勤務させて頂いております。

方言のヒアリングは大丈夫ですが、スピーキングが全くダメです。これから、入所者の皆さんとのコミュニケーションを通して、改めて学んでいきたいと思ひます。

入所者の皆様が、安心して療養できますよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



保育士 岸 円 (きし まどか)

4月1日より保育士として働くことになりました。元々奄美出身で専門学校を卒業後、大阪で9年程介護士として働いていました。奄美に戻ってからは、持っている資格を活かし保育の道に進みたいと思ひ、入職しました。

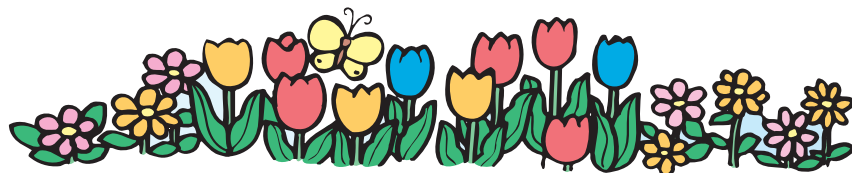
保育の経験はありませんが、子ども達と一緒に成長していけたらいいなと思ひます。元気に明るく毎日を楽しく過ごしたいです。よろしくお願い致します。



保育士 福 美香 (ふく みか)

今年度4月から保育園に勤務いたしております福です。毎日、こども達の笑顔と元気一杯のパワーを感じ楽しく過ごしております。

どうぞ宜しくお願い致します。



**庶務課 事務助手 幸 葵 (みゆき あおい)**

平成31年4月1日付けで入職いたしました幸と申します。奄美市出身です。

新元号発表と共に新たな気持ちでスタートできた事に大変嬉しく思います。事務経験が無い中での仕事は不安でしたが、職員の方が丁寧に教えて下さり充実した日々を過ごしています。

まだまだ不慣れな点でご迷惑おかけする事もあると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

不自由者棟 看護師 赤尾 優子 (あかお ゆうこ)

4月22日より和光園に入職し、ゆらいの郷で勤務させて頂いております。生まれも育ちも奄美大島の龍郷町です。現在は夫と長男・長女と4人で龍郷町で暮らしています。

看護師としては脳外科・内科・外科・整形外科・特別養護老人ホームなどを経験し現在に至ります。ハンセン病療養所は初めてで分からないことも多いですが、ご迷惑をおかけしない様、勉強させていただきます。

これから、入所者の皆様が安心して穏やかに日々を過ごせるよう頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



合同歓迎会



平成31年4月5日あすなろホールにて、新規採用者8名及び転入者11名を迎え合同歓迎会が、開催されました。この合同歓迎会は入所者の皆さんと共に和光園全体で新人さんを迎え入れようと、平成25年度に企画され今回で第7回目となります。

椎原会計係長による開会の辞に続き、加納園長の歓迎挨拶の後、各新人さんの自己紹介挨拶がありました。横山事務長の乾杯の挨拶でいよいよ開宴です。

テーブルには郷土料理と名物「黒糖焼酎」が並び入所者の方々と語り合いに花を添えてくれます。19名の新人さんを、入所者の皆さんと職員で歓迎しました。テーブルには笑い声があり、終始和やかな雰囲気に包まれておりました。お腹も満たされ程よく黒糖焼酎の酔いを感じた

頃、カラオケが始まりました。入所者の方々と職員が交互に十八番を披露し、まるで「歌の対抗戦」といった感があり、おおいに盛り上がりました。また、馬場副園長による踊りもあり、入所者の皆さんも楽しい時間を過ごせたようです。しかし、楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後は「和光園歌」を全員で大合唱し、馬場副園長の挨拶で閉宴しました。

新人の皆さんには和光園の雰囲気を感じて貰えたこととおっております。先輩職員と共に和光園を盛り上げ、入所者の方々の生活を支えるためお力添えを宜しくお願い致します。

また最後に忙しい中、合同歓迎会準備に奔走して頂いた皆様に感謝します。

薬剤科長 楠原 哲也

節分・豆まき

ゆらいの郷では2月5日に節分の豆まきを行いました。前日より入所者の皆さんと一緒に豆の代わりに新聞紙を丸めた、大きめの豆を大量に作成し準備しました。鬼役の師長からは「一人5豆まで」と希望がありましたが、前日より豆まきを心待ちにしていた入所者の方々の勢いとパワーは止められず「鬼は外、福は内」の元気な掛け声とともに、作成した大量の豆はすべて使い切ることとなり、鬼役の師長は完全にやつつけられてしまいました(笑)。

参加者からは「楽しい厄払いだった。これでまた1年頑張れる」との感想をいただき、入所者の皆さん、職員の方々とともに笑

顔あふれる楽しい時間を過ごすことができました。

不自由者棟 看護師 岡崎 さつき



「鬼は外、福は内」鬼が居室に現れると職員お手製の豆を鬼に向かって力いっぱい投げられ、「幸せがくるぞー」「痛くないか



いやー」「鬼が来たよー」と笑顔を見せられ、少しの時間ではありましたが、入所者の皆さんに季節を感じて頂けたのではないかと思います。

食堂ホールに集合出来ればと考えましたが、その日の体調により居室から出る事が少なくなっています。今後、病棟職員や他部署と連携しながら居室でも楽しめるようにしていきたいです。

病棟 介護員 黒木 貴雄

私達治療棟では2月1日(金)に毎年恒例の節分豆まきを行いました。鬼役の職員が、舎や畑に居る入所者の皆さんへ会いに行くと「もうそんな時期なんじゃや〜」と温かく迎え入れて頂いたのがとても嬉しか

ったです。豆まきを開始して、入所者の皆さんも「鬼は〜外！福は〜内！」のかけ声に合わせ笑顔も増え冗談を言われたりと、楽しいひと時を過ごして頂いたのではないのでしょうか。

今後も入所者の皆様に季節感を味わっ

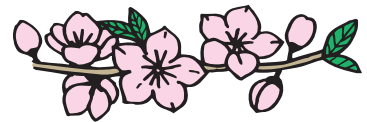
て楽しんでもらえるよう取り組んで行きます!!

治療棟 介護員 岩元 由衣





お花見会



平成31年2月14日、例年より少し遅い時期のお花見となりましたが、園内の緋寒桜はまだ元気に花を咲かせており、枝から枝へとたくさんのメジロが賑やかに飛び交っておりました。

今年こそはぜひ、記念公園で実際の花を見ながら弁当を食べて楽しもうと計画したのですが、あいにく雨模様の天気のため、昨年同様にあすなろホールで開催する運びとなりました。冒頭に園長の挨拶そして事務長の乾杯の音頭に始まり、次々と楽しい余興が繰り広げられました。余興のトップバッターは飛び入り参加で、鬼に扮した帽子をかぶった保育園の園児達が「お花が笑った」、「鬼のパンツ」の曲をバックにして、小さな体で一生懸命に踊る姿に会場からたくさんの拍手が沸き起こりました。次に、本来は入所者の皆さんのカラオケのプログラムに移るところでしたが、いざモニターの前で歌おうとしたところ、全く機械が作動しなかったため、急遽プログラムの順番の変更を余儀なくされました。約20分経過した後、別のモニターを交換してからよう

やくカラオケを再開するといったちょっとしたハプニングもありました。カラオケの復旧後、入所者の皆さんのカラオケに入り、「そんな夕子にほれました」、「人生花ごよみ」、「十九の春」といった懐かしいメロディーの歌謡曲を会場の手拍子にのりながら、日頃の練習で鍛えた迫力ある歌声で披露していただきました。会場内の他の入所者の方々、職員に多くの元気を与えていただきました。職員の余興ではチーム（Rehajyo +1：リハジョプラスワン）が亥年にちなんだ「猪突猛進」の幕の後ろから突如現れて、「男の勲章」の曲に合わせてギンギンに熱演して会場が盛り上がりしました。チーム治療棟では、「ハイサイおじさん」の曲に合わせて職員7名が軽やかなテンポで楽しく演じていただきました。

今回のお花見会は、平成から次の時代へバトンをわたすという節目の行事でもあり、参加された皆さんには、きっと記憶に残る一幕になったのではと思っております。

福祉室長 磯部 武嗣

映画上映会を開催して

1月～3月にかけ「君の名は」3部作の映画上映会を視覚障害者センターにて開催しました。昭和27年頃に大流行した映画だったのですが、一般舎の方々は映画のあらすじを覚えていて私達にストーリーを話され、その当時流行ったという“真知子巻き”をして見せてくれる事もありました。上映前から「わくわく～ドキドキ」等と言われ、上映後には「若返った」「楽しかった。次はいつするの?」「待ち遠しいね」と沢山の笑顔も見られ、とても好評でした。

次回からは全体での映画上映会を行いたいと思っています。日程などはまだ決まっておりませんが、決まり次第お知らせ致しますので、それまで楽しみにしてて下さい。

映画上映会にご協力していただいた入所者の皆様、職員の皆様本当にありがとうございました。

治療棟 介護員 中山 照美
作下 志信
岩元 由衣



バスレクリエーション(北大島)に参加して

数日雨が続き天候を心配しておりましたが、当日は曇りで時折晴れ、更には帰り着くころに雨、天候に恵まれたなと感じます。リハビリを担当している方に、前日「(お部屋の) ベランダにてるてる坊主を作りなさい」と言われ20数年ぶり製作した効果だと思えます。

皆さん同様、僕も今回初めて参加させて頂いたバスレクリエーションを凄く楽しみにしていました。

自然観察の森にある歴史あるトイレで鳥の声を聴きながら虫と仲良く用を足し、西郷さんの家や大きな魚が釣れそうな海を横目に辿り着いた宇宿漁港では、食べだしたら止まらない漬物や徳之島産のドーナツ、朝3時から仕込まれた豚足を御馳走になりました。撫でるといいことがあると云われる亀の頭や足を触り、奄美唯一のダムを眺めたり、バス内でミニ紅白歌合戦が行われたりと楽しい時間を過ごしました。

「足が悪くない頃、みんながいる頃はレクリエーションで海に入って魚釣りをしていた」「昔はみんなで飲んでいた」と残念がる声も聞かれましたが、「バスレクリエーションが一番楽しい」「昔、このダム作る仕事に来ていた」「みんなに作ってきたから食べて」など楽しみ方はそれぞれ違うか

もしれませんが充実した時を一緒に過ごせました。

今回参加させていただいて、地元奄美の楽しみ方を皆さんに教えて頂けました。皆さんでこうやってバスレクリエーションにこれからも行けるように、理学療法士として体力の維持や膝・腰などの痛みが少しでも和らぎ、歩くこと・長時間腰掛けることが苦痛なく出来るよう微力ながら取り組んでいきたいです。また、バスの乗り降りなど不自由な場面もなにかいい方法はないか考えていきたいです。

また次回もよろしくお願いいたします。

リハビリテーション室

理学療法士 島津 貴幸



第17回 日本フットケア学会年次学術集会に参加して

2月9日～10日の2日間、「歩く力は、生きる力！」をテーマに第17回日本フットケア学会年次学術集会が名古屋国際会議場にて開催されました。2600余名の参加者があり、教育講演・シンポジウム・実践教室・口頭やポスターによる発表など、様々な職種が楽しめるよう、多彩な内容のプログラムとなっていました。

私は、「FootLook®を用いて胼胝処置の効果を可視化する試み」という演題で口頭発表を行いました。「胼胝処置（皮切り）を行うことで、正しい立位姿勢を取りやすくなる。転倒リスクを低下させることは健康寿命に重要な意味を持つ。」という内容でした。発表時間が2日目の午後で、多くの参加者が帰路につき始める時間でしたが、事前に抄録集を見て聴きに來てくださった方もいらっしゃいました。

加齢とともに誰しも転びやすくなるものですが、元気に歩くことができれば、外出をする → 友人とおしゃべりをする → 楽しく過ごすことができます。一方、歩くことに不安を感じると、外出が億劫になる → 家にこもりがちになる → 体力

や気力がなくなる、認知症が進みやすくなる、など様々な問題が発生しやすくなります。「歩く」という動作は、人間らしく生きるために根本となる動作なのです。

今後、日本フットケア学会は、理念を同じくする日本下肢救済・足病学会と合併し、日本フットケア・足病医学会へ生まれ変わります。皆さんの健康寿命を、文字通り「足元から」支えることができるよう、今後もフットケアに力を注ぎたいと思います。

最後に、発表にあたり検査に御協力いただきました方々に深謝いたします。

ご当地銘菓と
学会がコラボ
レーションした
特製どら焼き
美味でした
(^o^)



副園長（日本フットケア学会認定指導士）
馬場 まゆみ

今回、和光誌掲載のお話を副園長より頂きました。私はフットケアに興味をもち、自己のスキルアップのため、2016年にフットケア指導士の認定を受けました。しかし、日常業務以外で指導士としての活動も特に行えていない現状です。認定取得後は5年以内に70単位を取得する必要がありますが学会等の参加は離島からは不便な事もあり、なかなか参加できずにいました。

今回、初めての学会参加となり、様々な職種の発表の聴講やポスター等の展示を閲覧できました。普段から足の状況を知り、ケアから良好な人間関係を形成する重要性など共感する内容もあり、刺激を受けました。

入所者の皆さんのために何が行えるのか？自分に問いながらこれからの業務の中で何か一つでも実行できたらと思います。皆さん宜しくお願いします。

病棟 看護師 **鶴村 あさみ**



リハビリテーションと栄養

こんにちは、理学療法士の山本です。
4月より理学療法士が1名増えリハビリテーションスタッフは5名となりました。
今後はより一層入所者の皆さんのその人らしい生活を送る手助けが出来るよう頑張っておりますのでよろしくお願いいたします。

皆さま、日々のリハビリは頑張っているけれども、歩くのが遅くなった、体重が減った、疲れやすくなった等と感じることは増えていませんか？リハビリの効果をもっと高めるためには十分な栄養が必要だといわれています。

しっかりと栄養を蓄えている山本が「リハビリテーションと栄養の関係」についてご紹介します。

筋肉の合成にはたんぱく質とエネルギーが必要です。低栄養状態で過度の運動

を行うと、筋肉を分解してたんぱく質やエネルギーを得ようとするため、かえって筋肉量は減少してしまいます。日常生活にかかわる動作を安定して行うためには、たんぱく質やエネルギーを十分に摂り、筋力トレーニングによって筋肉を強化し体力を向上させる必要があります。

サルコペニアとは、「骨格筋・筋肉 (sarco) の喪失 (penia)」を意味する造語です。サルコペニアの原因には、加齢のみを原因とする原発性サルコペニアと、活動・栄養・疾患を原因とする二次性サルコペニアがあります。

疾患を持つ高齢者は、疾患・疾患に関連する不活発・加齢の3つによりサルコペニアの危険性が高い状態といえます。サルコペニアは身近な病態なのです。

＜サルコペニアの診断基準 ①+ (②または③)＞

日本人の目安 (65歳以上の高齢者)

- ① 筋肉量の低下：下腿周囲長30cm未満、もしくはBMI 18.5 kg/m²未満
- ② 筋力の低下：握力男性25kg未満、女性20kg未満
- ③ 身体機能の低下：歩行速度1.0m/秒未満

リハビリテーションを行っている方の必要エネルギーを設定する場合は、リハによるエネルギー消費量を考慮する必要があります。リハの強度や時間によって100～500kcal以上が消費されるからです。運動後にタンパク質と糖質を摂取すると筋肉の合成が促進されるといわれています。栄養補助食品を上手に使って栄養補給できると良いでしょう。

ただ、肥満には注意してください。

サルコペニア肥満に注意！

サルコペニア肥満とは、サルコペニアに肥満が加わったもので、筋肉が減り、体の中が脂肪だらけになり、筋肉に脂肪が入り込んだ状態です。運動能力、特に歩行能力を低下させるため、転倒・骨折をきたし寝たきりになるリスクを高めます。十分注意しましょう。

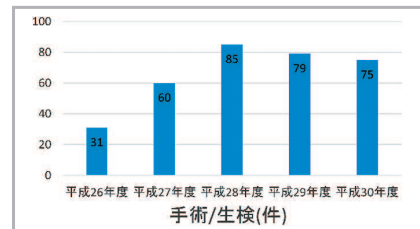
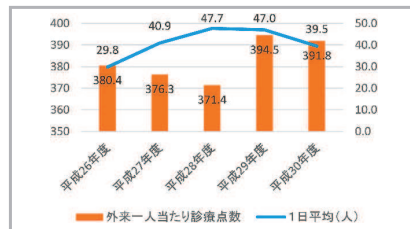
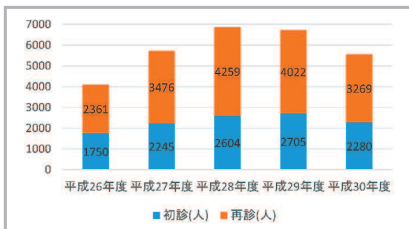
リハビリテーション室

理学療法士 山本 英樹

平成30年度 診療統計

	外来診療					再掲		入院診療		
	初診(人)	再診(人)	合計(人)	1日平均(人)	診療実日数(日)	紫外線療法(件)	手術/生検(件)	入院(人)	退院(人)	延患者数(人)
4月	215	282	497	41.4	12	66	9	0	0	0
5月	234	309	543	45.3	12	78	10	0	0	0
6月	235	305	540	41.5	13	81	6	0	0	0
7月	264	293	557	42.8	13	83	4	0	0	0
8月	190	293	483	37.2	13	72	4	0	0	0
9月	127	218	345	38.3	9	61	7	0	0	0
10月	217	279	496	38.2	13	95	7	0	0	0
11月	169	266	435	39.5	11	90	9	0	0	0
12月	158	272	430	39.1	11	84	7	0	0	0
1月	141	231	372	37.2	10	77	2	0	0	0
2月	158	212	370	37.0	10	71	4	0	0	0
3月	172	309	481	37.0	13	89	6	0	0	0
合計	2280	3269	5549	39.6	140	947	75	0	0	0

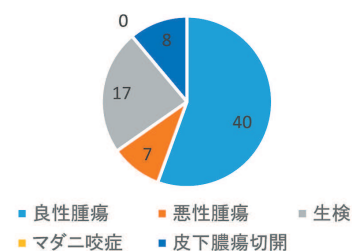
★8月から完全予約制導入



学会発表

- 第15回日本褥瘡学会九州・沖縄地方会学術集会
(平成30年4月21日・熊本市)
- ・皮膚灌流圧値にて評価し救肢しえた足部褥瘡の1例
- 第182回日本皮膚科学会鹿児島地方会
(平成30年12月9日・鹿児島市)
- ・腹部に生じた脂腺癌の1例
- 第17回日本フットケア学会年次学術集会
(平成31年2月9日～10日・名古屋市)
- ・FootLook®を用いて胼胝処置の効果を可視化する試み

平成30年度 手術/生検 内訳(件)



悪性腫瘍内訳
日光角化症 3
Bowen病 3
基底細胞癌 1

和光園日誌

(平成31年2月1日～平成31年4月30日)

- | | | | |
|------|----|----|-------------------|
| H31. | 2. | 5 | 厚生労働省大臣官房会計事務監査指導 |
| | 2. | 26 | 園外ショッピング(タイヨー) |
| | 3. | 7 | 園外ショッピング(ビックII) |
| | 3. | 8 | 看護研究発表会 |
| | 3. | 19 | 合同送別会 |
| | 3. | 28 | 園外ショッピング(タイヨー) |
| | 4. | 1 | 辞令交付式 |
| | 4. | 4 | 新任オリエンテーション |
| | 4. | 5 | 新任オリエンテーション |
| | | | 開園記念日 |
| | | | 歓迎会 |
| | 4. | 10 | 自治会との意見交換会 |
| | 4. | 12 | 入所者死亡(24名→23名) |
| | 4. | 18 | 園外ショッピング(タイヨー) |
| | 4. | 25 | 園外レクリエーション(北大島) |

人事異動

(平成31年2月1日～平成31年4月30日)

H31. 3. 31	岩辻 好夫	事務長補佐	定年退職
	荒垣 満雄	主任調理師	定年退職
	青堀 実	自動車運転手	定年退職
	押川 春美	看護師	定年退職
	生田 郁夫	看護師	定年退職
	有働 尚子	内科医長	退職
	川崎 岳史	臨床検査技師	退職
	豊田 恵美	総看護師長	国立療養所菊池恵楓園へ
	磯部 武嗣	福祉室長	NHO別府医療センターへ
	堀口 広文	庶務班長	NHO指宿医療センターへ
	川原 増美	給食係長	NHO鹿児島医療センターへ
	原田 浩邦	臨床検査技師長	NHO福岡病院へ
	西濱 るみ子	看護師長	NHO宮崎病院へ
	窪田 マキ	副看護師長	NHO鹿児島医療センターへ
	篠原 夕姫	看護師	NHO南京都病院へ
H31. 4. 1	鮫島 明子	総看護師長	NHO南九州病院より
	立川 秀一	事務長補佐	NHO大分医療センターより
	上脇田 勝教	福祉室長	NHO長崎病院より
	清田 和博	庶務班長	NHO鹿児島医療センターより
	綾部 純一	庶務係長	NHO東佐賀病院より
	畠 伸策	臨床検査技師長	NHO九州医療センターより
	和氣 輝忠	細菌血清主任	国立療養所宮古南静園より
	島津 貴幸	理学療法士	NHO熊本再春荘医療より
	島袋 源秀	看護師長	NHO琉球病院より
	長井 久美子	看護師	NHO鹿児島医療センターより
	岸 円	保育士	期間業務職員
	福 美香	保育士	期間業務職員
	幸 葵	事務助手	非常勤職員
	岩辻 好夫	福祉係	再任用
	荒垣 満雄	調理師	再任用
	青堀 実	自動車運転手	再任用
	押川 春美	看護師	再任用
	生田 郁夫	看護師	再任用
H31. 4. 22	赤尾 優子	看護師	採用

今後の行事予定

7月25日(木) 夏まつり / 9月12日(木) 敬老会

編集後記

今回、編集委員が10名中6名が任期終了や異動のため入れ替わりました。私も初めて和光誌編集委員となり、慣れない委員の仕事に右往左往しながら皆さんの苦勞を痛感しているところです。

任期終了の編集委員の皆さん、大変お疲れ様でした。

本年度の編集委員は編集委員長として馬場副園長、オブザーバーとして立川事務長補佐、委員として谷村副総看護師長、清田庶務班長、山口会計班長、綾部庶務係長、津下医事係長、神寄給食係長、藤田介護員、山本理学療法士の面々となりました。

今後とも和光誌の充実をはかるため編集委員一同一生懸命活動していく所存ですので、よろしくお願いいたします。

編集委員 山本 英樹